

丸山正道家文書目録と目録の作成について

- 1 本史料「丸山正道家文書」は平成 27 年 1 月に借用した丸山忠兵衛関係史料である。江戸期には福島宿の本陣として活躍した家系をもつ。八代忠兵衛は弘化 4 年 12 月に福島村に生まれ大正 6 年 2 月に没している。その間明治 12 年には福島村戸長となり、同 26 年には第 2 代井上村村長を拝命している。
- 2 本史料には、前述の役職関係の史料はほとんど見当たらない。明治 40 年以降において長野市に移り、さらに群馬県に居を移している。忠兵衛家はその後に再興されているため丸山家にかかわる史料が散逸して見当たらない。八代にかかわる史料と推測される康楽寺関係書簡(忠兵衛の名は見られない)がみられる。
- 3 本目録の作成は、市史編さん室専門員大塚尚三・丸山文雄がおこなった。

2015年 6月 25日

須坂市誌編さん室